

神高SSH通信

課題研究 カタツムリ班

「神戸市周辺に生息するカタツムリの研究」



最優秀賞(1位)受賞！！

静岡県静岡市で行われた第60回日本生態学会大会(全国大会)、高校生ポスター発表会「みんなのジュニア生態学」に66回生総合理学科の4名が参加し、発表を行いました。日本生態学会大会は静岡市のグランシップという巨大な船の形をしたコンベンションセンターで行われ、この大会は大学や研究機関の生態学関係の研究者が所属するもので、高校生ポスター発表会も専門家の先生方による選考委員会が内容を評価します。この大会で発表することが昨年度の課題研究の1つの大きな目標でした。

専門家が多く参加する学会で発表することは、自分たちの研究に対するより高度な批評や意見、アドバイスを聞けるだけでなく、人とのつながりができることで今後のこの研究を大きく進める力になります。発表時の質疑応答では、アドバイスを受けたり、関連する論文を紹介されたり、カタツムリを専門に研究をされている方もポスターを見に来られ、名刺をいただいて意見をもらいました。「貝類の研究者は日本にも多いが、遺伝子まで踏み込んで研究をしている人は少ない、是非続けて研究しては」といった意見や、「よくできたポスターで、高校生とは思えない」と言ったお褒めの言葉もいただきました。また、地元神戸大学の先生もブースに来られ、差し入れでのど飴をいただいたり、指示棒をお借りしたりと和やかな交流がおこなわれました。

この発表会は、生物系の部活動の活動実績をまとめた発表が中心で、先輩の大学生や院生、大学などと連携した発表も多く、内容が高校生離れした高度なものもありましたが、神戸高校の発表ブースには途切れることなく多くの人々が興味を持って訪れ、発表者の話を熱心に聞いていました。

発表会終了後の表彰式では、ナチュラルヒストリー賞(12点)、特別奨励賞(6点)、優秀賞(5点)、に続いて最優秀賞(3点)の発表があり、最後に神戸高校の研究題目が読み上げられました。この課題研究には時間と労力がかかりましたが、しっかり取り組んできた研究が学会で評価されたことがなによりうれしいことでした。

神戸高校発表ブースには多くの人々が訪れました





平成 24 年度の SSH 事業の紹介 (一部)

昨年度も自然科学研究会や総合理学科を中心に様々な SSH 事業を展開しました。写真はその一部です。今年度も様々な企画が用意されています。下記に記載した行事予定などの細かい案内等は、今後 SSH 通信や担任の先生から発信していきます。総合理学科の生徒だけではなく、普通科の生徒も参加できる企画がたくさんありますので、ぜひ参加しましょう。

◎京大舞鶴サイエンスツアー
(京都大学:5月)



◎関東サイエンスツアー
(筑波研究学園都市・東京大学など:8月)



◎第4回サイエンスフェア in 兵庫
(神戸国際展示場:2月)



平成 25 年度 SSH 事業予定 (5月～8月)

日程	内容	場所	対象参加者
5月2日(木)	文化祭ポスター発表 (3年生が課題研究のポスター発表をします)	神戸高校	対象参加者
6月15日(土)	サイエンスツアー	京都大学フィールド 科学教育研究センター 舞鶴水産実験所	総合理学科1年生全員
8月1日(木)	総合理学科 3年生が課題研究の概要説明と高校生活に関する質疑応答をします。	神戸高校	主に中3生と保護者、中学教員等
8月3日(土)～4日(日) 1泊2日	臨海実習	京都大学フィールド 科学教育研究センター 舞鶴水産実験所	希望生徒数名 (費用のうち自己負担は7千円ほど)
8月21日(水)～23日(金) 2泊3日	関東サイエンスツアー	—	総合理学科希望生徒 (主に1年生) (費用のうち自己負担は2万円ほど)